



2022年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年1月31日

上場会社名 大同特殊鋼株式会社 上場取引所 東・名
 コード番号 5471 URL <https://www.daido.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石黒 武
 問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 鈴木 英男 (TEL) 052-963-7501
 四半期報告書提出予定日 2022年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第3四半期の連結業績(2021年4月1日~2021年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	390,499	36.0	28,914	—	31,174	659.9	22,203	—
2021年3月期第3四半期	287,127	△23.1	1,861	△91.1	4,102	△80.8	1,623	△89.9

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 25,769百万円(63.6%) 2021年3月期第3四半期 15,755百万円(△5.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	520.87	—
2021年3月期第3四半期	38.08	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第3四半期	710,492	359,247	45.3
2021年3月期	665,506	339,353	45.6

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 321,920百万円 2021年3月期 303,143百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	10.00	—	25.00	35.00
2022年3月期	—	80.00	—		
2022年3月期(予想)				100.00	180.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日~2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	530,000	28.4	35,000	247.6	37,000	192.7	26,000	475.6	609.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期3Q	43,448,769株	2021年3月期	43,448,769株
② 期末自己株式数	2022年3月期3Q	822,029株	2021年3月期	821,449株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期3Q	42,627,056株	2021年3月期3Q	42,628,064株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項は【添付資料】P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	9
3. 補足説明資料	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種が普及したことにより、人々の行動制限が徐々に緩和され、景気に持ち直しの動きが見られましたが、足元では新たな変異株の発生により感染が再拡大しており、先行きについては依然として不透明な状況が継続しております。

このような経済環境の中、特殊鋼の需要は、新型コロナウイルス感染症の影響により大幅に減少した前年から大きく回復しました。主要需要先である自動車関連の受注は、部品不足による生産調整で回復のペースが鈍化していましたが、足元では今後の生産挽回に備えた在庫補填の動きにより増加基調となりました。産業機械関連の受注は、国内外の景気回復に伴い堅調に推移しました。また半導体関連は、5Gやデータセンター、車載向けなど幅広い需要が堅調に拡大し、受注は高位で継続しました。この結果、鋼材売上数量は前年同期比で増加しました。一方、主要原材料である鉄屑価格は、国内需給のタイト化および国際価格の上昇により前年同期比で高騰し、またニッケルなどの各種合金類についても、グローバルでの需要増加や供給制約により高騰しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の連結経営成績は、売上高は前年同期比1,033億72百万円増収の3,904億99百万円、経常利益は前年同期比270億71百万円増益の311億74百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比205億79百万円増益の222億3百万円となりました。

なお、「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。詳細は、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）」をご参照ください。また、一部の連結子会社14社について、第1四半期連結会計期間より決算日を3月31日に変更、または四半期連結決算日に仮決算を行う方法に変更しております。詳細は、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（追加情報）」をご参照ください。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

①特殊鋼鋼材

構造用鋼は、主要需要先である自動車関連や産業機械向けの受注増加を受け、前年同期比で数量が増加しました。工具鋼も、自動車関連需要を中心に各業態で受注が高位となり、前年同期比で数量が増加しました。主要原材料である鉄屑価格は、国内需給のタイト化および国際価格の上昇により、前年同期比で高騰しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の特殊鋼鋼材の売上高は、売上数量の増加および原材料価格の上昇により前年同期比46.3%増加の1,449億15百万円、営業利益は、前年同期比42億59百万円増益の21億63百万円となりました。

②機能材料・磁性材料

ステンレス鋼および高合金は、自動車関連や産業機械向けの受注増加に加え、半導体関連の受注も高位で推移したことで、前年同期比で数量が増加しました。磁石製品は、自動車関連および半導体関連の需要増加により、粉末製品は、自動車関連を中心とした需要の増加により、売上高は前年同期比で増加しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の機能材料・磁性材料の売上高は、売上数量の増加およびニッケルなど各種合金価格の上昇により前年同期比41.1%増加の1,460億11百万円、営業利益は前年同期比154億43百万円増益の210億89百万円となりました。

③自動車部品・産業機械部品

エンジンバルブ部品・型鍛造品は、自動車生産の増加を受け、精密鍛造品は、自動車生産の増加に伴うターボ関連製品の需要が増加し、それぞれ売上高は前年同期比で増加しました。自由鍛造品は、航空機需要が調整継続しているものの、半導体関連や重電需要、船用バルブが好調に推移し、売上高は前年同期比で増加しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の自動車部品・産業機械部品の売上高は、売上数量の増加により前年同期比19.7%増加の694億37百万円、営業利益は前年同期比77億65百万円増益の43億23百万円となりました。

④エンジニアリング

主に自動車部品向け熱処理炉を中心とした受注減少により、当第3四半期連結累計期間におけるエンジニアリングの売上高は、前年同期比11.4%減少の130億44百万円、営業損益は前年同期比14億28百万円減益の9億62百万円の損失となりました。

⑤流通・サービス

当第3四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比44.1%増加の170億91百万円、営業利益は前年同期比10億33百万円増益の23億21百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当社グループの当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前期末に比べ449億85百万円増加し7,104億92百万円となりました。総資産の増加の主な内訳は、「棚卸資産」の増加413億41百万円、「受取手形、売掛金及び契約資産」の増加127億24百万円、減少の主な内訳は、「現金及び預金」の減少76億26百万円であります。

総資産の増減の主な内訳と要因は、下記のとおりであります。

- ・「棚卸資産」および「受取手形、売掛金及び契約資産」は、原材料市況の高騰、堅調な需要への生産対応および売上増加等により増加しております。
- ・「現金及び預金」は、前期末では新型コロナウイルス感染症に伴う事業や金融環境の変化に対応するため増加させておりましたが、事業の安定および金融情勢の正常化に伴い平常水準に戻したため、当第3四半期連結会計期間末では減少しております。

また、当社グループの当第3四半期連結会計期間末の非支配株主持分を含めた純資産は、前期末に比べ198億93百万円増加し3,592億47百万円となりました。純資産の増加の主な内訳と要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益222億3百万円の計上等による「利益剰余金」の増加173億94百万円であります。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の自己資本比率は45.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

足元で新型コロナウイルスの変異株による感染が再拡大しており、先行きについては依然として不透明な状況が継続しておりますが、ステンレス鋼を中心とした売上数量の増加や、鉄屑価格が前回公表時の前提を下回る水準で推移することが見込まれること、および当第3四半期連結会計期間にて特別損益（投資有価証券売却益54億12百万円、減損損失22億81百万円）を計上したことから、前回（2021年10月28日）公表した業績予想を修正しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	67,314	59,688
受取手形及び売掛金	110,444	—
受取手形、売掛金及び契約資産	—	123,169
電子記録債権	15,473	21,692
棚卸資産	118,532	159,873
その他	7,696	9,729
貸倒引当金	△97	△85
流動資産合計	319,364	374,067
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	81,881	79,105
機械装置及び運搬具（純額）	99,170	97,446
その他（純額）	50,794	48,728
有形固定資産合計	231,846	225,281
無形固定資産	2,721	3,280
投資その他の資産		
投資有価証券	93,947	90,372
退職給付に係る資産	12,182	11,986
その他	5,527	5,577
貸倒引当金	△83	△74
投資その他の資産合計	111,574	107,862
固定資産合計	346,142	336,424
資産合計	665,506	710,492

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	43,292	48,975
電子記録債務	22,297	12,541
短期借入金	70,141	98,764
コマーシャル・ペーパー	10,000	23,000
1年内償還予定の社債	10,000	10,000
未払法人税等	1,957	7,354
賞与引当金	6,566	3,475
その他の引当金	1,531	816
その他	15,659	17,075
流動負債合計	181,445	222,004
固定負債		
社債	25,000	25,000
長期借入金	82,223	67,054
その他の引当金	4,517	4,222
退職給付に係る負債	12,620	12,791
その他	20,344	20,170
固定負債合計	144,706	129,239
負債合計	326,152	351,244
純資産の部		
株主資本		
資本金	37,172	37,172
資本剰余金	30,427	30,911
利益剰余金	216,357	233,751
自己株式	△3,660	△3,663
株主資本合計	280,297	298,171
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	25,627	24,098
繰延ヘッジ損益	△26	△12
土地再評価差額金	657	657
為替換算調整勘定	290	2,622
退職給付に係る調整累計額	△3,702	△3,616
その他の包括利益累計額合計	22,846	23,749
非支配株主持分	36,210	37,326
純資産合計	339,353	359,247
負債純資産合計	665,506	710,492

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)
売上高	287,127	390,499
売上原価	248,085	321,092
売上総利益	39,041	69,406
販売費及び一般管理費	37,180	40,492
営業利益	1,861	28,914
営業外収益		
受取利息	114	105
受取配当金	1,344	1,973
持分法による投資利益	244	514
為替差益	—	80
雇用調整助成金	3,081	195
その他	1,027	1,193
営業外収益合計	5,811	4,063
営業外費用		
支払利息	638	605
固定資産除却損	661	480
環境対策引当金繰入額	1,265	39
為替差損	337	—
その他	666	678
営業外費用合計	3,570	1,804
経常利益	4,102	31,174
特別利益		
投資有価証券売却益	118	5,412
特別利益合計	118	5,412
特別損失		
減損損失	—	2,281
事業整理損	—	424
特別損失合計	—	2,705
税金等調整前四半期純利益	4,221	33,881
法人税、住民税及び事業税	1,566	9,593
法人税等調整額	443	△145
法人税等合計	2,010	9,448
四半期純利益	2,210	24,432
非支配株主に帰属する四半期純利益	587	2,229
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,623	22,203

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
四半期純利益	2,210	24,432
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	13,941	△1,542
繰延ヘッジ損益	△43	13
為替換算調整勘定	△1,015	2,716
退職給付に係る調整額	675	108
持分法適用会社に対する持分相当額	△13	39
その他の包括利益合計	13,544	1,336
四半期包括利益	15,755	25,769
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	15,239	23,106
非支配株主に係る四半期包括利益	515	2,663

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

1. 収益認識に関する会計基準等の適用

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

収益認識会計基準等の適用により、従来は、総額で収益を認識していた一部の商品販売について、顧客への財又はサービスの提供における役割(本人又は代理人)を判断した結果、純額で収益を認識する方法にする等の変更を行っております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は17,198百万円減少し、売上原価は16,440百万円減少し、販売費及び一般管理費は1,081百万円減少しております。なお、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益、税金等調整前四半期純利益、および利益剰余金の当期首残高に与える影響は軽微であります。

収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」に表示していた「受取手形及び売掛金」は、第1四半期連結会計期間より「受取手形、売掛金及び契約資産」に含めて表示することとしました。なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。

2. 時価の算定に関する会計基準等の適用

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項および「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

(連結子会社の事業年度等に関する事項の変更)

従来、連結子会社のうち、大同電工(蘇州)有限公司、大同特殊鋼(上海)有限公司、Daido Kogyo (Thailand) Co., Ltd.、OHIO STAR FORGE CO. 他10社について、当該連結子会社の事業年度に係る財務諸表を使用し、連結決算日との間に生じた重要な取引について連結上必要な調整を行っていましたが、連結決算の開示内容の充実のため、決算日を3月31日に変更、または四半期連結決算日に仮決算を行う方法に変更したことに伴い、当第3四半期連結累計期間は、主として2021年1月1日から2021年12月31日までの12か月間を連結しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は12,521百万円増加し、営業利益は897百万円増加し、経常利益および税金等調整前四半期純利益はそれぞれ996百万円増加しております。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	特殊鋼鋼材	機能材料・ 磁性材料	自動車部品 ・産業機械 部品	エンジニア リング	流通・ サービス	合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高								
外部顧客への 売上高	99,045	103,469	58,027	14,719	11,864	287,127	—	287,127
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	35,758	8,304	13,234	453	8,946	66,697	△66,697	—
計	134,803	111,774	71,262	15,172	20,810	353,824	△66,697	287,127
セグメント利益 又は損失(△)	△2,095	5,646	△3,441	466	1,287	1,862	△1	1,861

(注)1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	特殊鋼鋼材	機能材料・ 磁性材料	自動車部品 ・産業機械 部品	エンジニア リング	流通・ サービス	合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高								
外部顧客への 売上高	144,915	146,011	69,437	13,044	17,091	390,499	—	390,499
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	51,730	11,069	21,300	277	10,670	95,048	△95,048	—
計	196,646	157,080	90,738	13,322	27,761	485,548	△95,048	390,499
セグメント利益 又は損失(△)	2,163	21,089	4,323	△962	2,321	28,935	△20	28,914

(注)1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(1) 収益認識に関する会計基準等の適用

(会計方針の変更)に記載のとおり、第1四半期連結会計期間の期首から収益認識会計基準等を適用し、収益認識に関する会計処理方法を変更しております。

この結果、従来の方法に比べて、主として、当第3四半期連結累計期間の「特殊鋼鋼材」における売上高は10,069百万円減少し、「機能材料・磁性材料」における売上高は2,565百万円減少し、「自動車部品・産業機械部品」における売上高は4,132百万円減少しております。なお、セグメント利益又は損失へ与える影響は軽微であります。

(2) 連結子会社の事業年度等に関する事項の変更

(追加情報)に記載のとおり、一部の連結子会社14社について、決算日を3月31日に変更、または四半期連結決算日に仮決算を行う方法に変更したことに伴い、当第3四半期連結累計期間は、主として2021年1月1日から2021年12月31日までの12か月間を連結しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の「特殊鋼鋼材」における売上高は1,504百万円増加、セグメント利益は105百万円増加し、「機能材料・磁性材料」における売上高は2,526百万円増加、セグメント利益は158百万円増加し、「自動車部品・産業機械部品」における売上高は3,850百万円増加、セグメント利益は454百万円増加し、「流通・サービス」における売上高は4,640百万円増加、セグメント利益は179百万円増加しております。

3. 補足説明資料

(1) 当第3四半期のセグメント別売上高・営業利益

(単位：百万円、%)

	売上高		営業利益	
	2021年12月 第3四半期	前年同期差 増減額 (増減率)	2021年12月 第3四半期	前年同期差 増減額
特殊鋼鋼材	144,915	45,869 (46.3%)	2,163	4,259
機能材料・磁性材料	146,011	42,541 (41.1%)	21,089	15,443
自動車・産業機械部品	69,437	11,410 (19.7%)	4,323	7,765
エンジニアリング	13,044	-1,675 (-11.4%)	△962	-1,428
流通・サービス	17,091	5,226 (44.1%)	2,321	1,033
調整	—	—	△20	-19
計	390,499	103,372 (36.0%)	28,914	27,053

(鋼材売上数量(単体) 951千t、前年同期差 298千t増)

(2) 要約連結損益計算書(四半期累計期間)

(単位：百万円、%)

	2021年12月 第3四半期	前年同期差 増減額 (増減率)
売上高	390,499	103,372 (36.0%)
営業利益	28,914	27,053 (-%)
営業外損益	2,259	17
経常利益	31,174	27,071 (659.9%)
特別損益	2,706	2,587
税引前純利益	33,881	29,659
法人税等	9,448	7,437
非支配株主に帰属する 当期純利益	2,229	1,642
親会社株主に帰属する 当期純利益	22,203	20,579 (-%)

(3) 当第3四半期の経常利益増減要因(前年同期対比)

(単位：億円)

(参考：原料・為替市況)

増益要因	金額	減益要因	金額
1. 販売数量増加	295	1. 原燃料等市況	348
2. 販売価格は正	207	2. 固定費の増加	38
3. 内容構成差他	94		
4. 変動費改善	51		
5. 決算期変更	9		
計(a)	656	計(b)	386
		差引(a) - (b)	270

	2020年12月 第3四半期	2021年12月 第3四半期
H2建値 (千円/t)	21.0	46.3
ニッケル(LME) (\$/1b)	6.4	8.5
為替レート(TTM) (円/\$)	107.1	112.1

(4) 要約連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	前期 2021年 3月末	当第3四半期 2021年 12月末	増減	科目	前期 2021年 3月末	当第3四半期 2021年 12月末	増減
流動資産	319,364	374,067	54,702	負債	326,152	351,244	25,091
現金	67,314	59,688	-7,626	営業債務	65,589	61,516	-4,072
営業債権	125,918	144,861	18,943	有利子負債	198,812	225,998	27,185
棚卸資産	118,532	159,873	41,341	その他	61,750	63,729	1,978
その他	7,599	9,644	2,045				
固定資産	346,142	336,424	-9,717	純資産	339,353	359,247	19,893
有形固定資産	231,846	225,281	-6,565	株主資本	280,297	298,171	17,874
無形固定資産	2,721	3,280	559	その他の包括利益 累計額	22,846	23,749	902
投資その他の資産	111,574	107,862	-3,711	非支配株主持分	36,210	37,326	1,116
資産合計	665,506	710,492	44,985	負債純資産合計	665,506	710,492	44,985

(5) 予想セグメント別売上高・営業利益

(単位：百万円、%)

	予想 2022年 3月期	売上高		営業利益	
		増減額	前期差 (増減率)	予想 2022年 3月期	前期差 増減額
特殊鋼鋼材	198,000	52,157	(35.8%)	2,900	5,532
機能材料・磁性材料	198,500	49,079	(32.8%)	26,100	13,927
自動車・産業機械部品	94,400	13,649	(16.9%)	4,600	6,709
エンジニアリング	18,600	-1,605	(-7.9%)	△1,300	-2,158
流通・サービス	20,500	3,995	(24.2%)	2,700	913
調整	—	—		—	4
計	530,000	117,277	(28.4%)	35,000	24,929

(鋼材売上数量(単体) 1,266千t、前期差 288千t増)

(6) 業績予想

(単位：百万円、%)

	予想 2022年 3月期	前期差 増減額	(増減率)
売上高	530,000	117,277	(28.4%)
営業利益	35,000	24,929	(247.6%)
経常利益	37,000	24,357	(192.7%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	26,000	21,483	(475.6%)

(7) 予想経常利益増減要因(前期対比)

(単位：億円)

(参考：原料・為替市況)

増益要因	金額	減益要因	金額	前期 2021年3月期	予想 2022年3月期
1. 販売数量増加	285	1. 原燃料等市況	506		
2. 販売価格は正	336	2. 固定費の増加	51	H2 建値 (千円/t)	24.9
3. 内容構成差他	123	3. 営業外損益	6	ニッケル(LME) (\$/lb)	6.8
4. 変動費改善	53			為替レート(TTM) (円/\$)	107.1
5. 決算期変更	9				8.7
計(a)	806	計(b)	563		112.3
		差引(a) - (b)	243		

(参考) 業績の推移

(単位：百万円)

	実績				予想
	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期
売上高	505,219	543,255	490,421	412,722	530,000
営業利益	36,218	33,815	24,768	10,070	35,000
経常利益	36,130	34,343	24,298	12,642	37,000
親会社株主に帰属 する当期純利益	23,920	21,182	10,987	4,516	26,000